

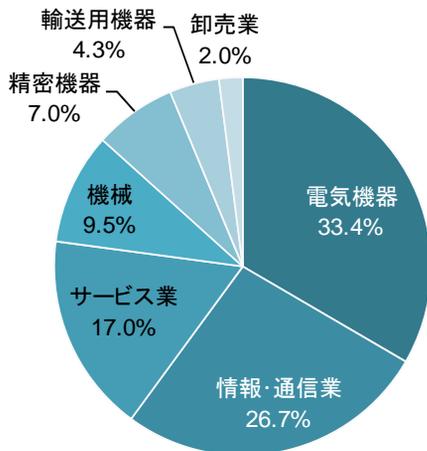
ジャパン・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)/(年2回決算型)

ポートフォリオの状況について

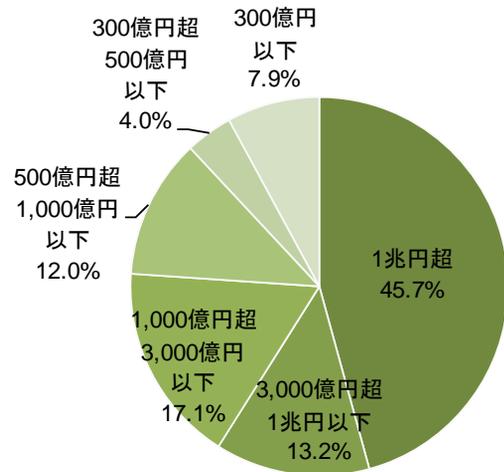
「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)」は、2016年1月29日より運用を開始いたしました。当資料では、2016年2月5日現在のポートフォリオの状況をご報告するとともに、運用チームからのコメントをご紹介させていただきます。

ポートフォリオの状況 (2016年2月5日)

業種別比率



時価総額別比率



組入銘柄数

41 銘柄

- ※ 上記はマザーファンドの状況であり、比率は組入株式の時価総額比です。各比率は四捨五入により合計が100%とならない場合があります。
- ※ 業種は東証33業種分類にて表示しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用チームからのコメント ～ポートフォリオの構築について

投資環境について

足元の株式市場は、原油安や中国の人民元安・株安の進行などを背景とする世界経済の先行き不透明感、また中東諸国間の関係悪化などを背景とした投資家のリスク回避姿勢の強まり、さらには円高／米ドル安の進行などを受けて、変動性の高い相場展開となっています。

このように世界景気に対する不透明感が高まる市場環境においては、銘柄選別がより重要となるため、以下のポイントに注目してポートフォリオの構築を行ないました。

ポートフォリオ構築のポイント

当ファンドは、中長期的な成長が期待できる、ロボティクス関連事業に強いビジネスを持つ企業や、ロボティクス関連技術を有効に活用する企業に投資を行ないます。こうした企業群を主な収益構造別にみると下記のように分類することができます。

- ① 独自の差別化された技術やブランド力が世界に普及することにより業績を伸ばせる企業【外需系】

例：産業用ロボット関連、FA(ファクトリーオートメーション)関連、電子部品関連、自動運転車関連など

- ② 労働力不足や高齢化社会の進行といった日本国内の課題の解決において、IoT、AI、ビッグデータなどの活用を通じて業績を伸ばせる企業【内需系】

例：サービス関連、ソフトウェア・ネットワーク関連、サービスロボット関連など

ロボティクスは中長期での成長が期待できる分野ではあるものの、ポートフォリオの構築にあたっては足元の市況動向を勘案し、短期的にグローバルの景気動向や円高の影響を受けやすい「①外需系」の銘柄については慎重な見方を行なったうえで、「②内需系」銘柄群の組入比率を高めました。

ポートフォリオの特徴

業種別で見ると、情報・通信業やサービス業といった、内需系の銘柄群が40%以上を占めています。また、電気機器や機械のように一般に外需関連株とされる銘柄の中にも、内需系の要素を含む企業があることから、ファンド全体で見ると、ポートフォリオの半分程度が内需系の収益構造を持つ企業で占められるとみえています。

また時価総額別比率をみると、中小型株の比率が比較的高くなっています。当ファンドは今後の成長が期待できる中小型株にも積極的に投資を行なうため、今後も大型株とのバランスを勘案しつつ、弊社アナリストの調査力を活用しながら投資魅力のある中小型株の発掘にも注力していきます。

足元の市況動向には不透明要因は多いものの、当ファンドは今後の成長が期待できるロボティクス関連銘柄に投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざします。今後もそうした視点に基づき、銘柄の選別に努めてまいります。

運用チームからのメッセージ



日本のロボティクス関連産業は将来有望

日本のロボティクス関連産業は、中長期的にみて非常に有望な分野だと考えます。その理由として、まず日本企業が持つ高い技術力に支えられた、国際競争力の高さが挙げられます。現在、ロボティクスの活躍の場やニーズは日々変化・多様化しており、高い技術力を持つ日本企業の存在感は今後ますます高まるものとみられます。また、日本には巨大なロボティクス需要が存在することも大きな理由の一つです。日本は急速な少子高齢化に伴ない、労働力の不足や介護・医療負担の増加といった社会の構造的な問題を抱えており、これらはインフラの老朽化などと共に、ロボティクス関連技術を活用した早急な対策を要するとされています。

またこれらの問題は、今後他の国々も直面するものであることから、日本がこうした分野の対応で先駆者となることは、将来的に輸出の大幅な拡大につながると考えられます。

当ファンドの運用の特色とは

日本の株式を投資対象とする当ファンドでは、弊社が持つ**ポトムアップリサーチの運用力**を十分に活かせると考えています。投資対象としては、ロボティクス関連技術に関わる製品や部品を供給する企業だけではなく、**それらの技術を活用してビジネスを拡大させられるようなサービスを提供する企業**にも投資を行ないます。さらに、ロボティクス関連技術は分野によっては市場がまだ初期段階にあり、関連する企業の規模も小さいことが少なくありませんが、そうした**中小型の企業にも積極的に投資**を行なう方針です。

投資家のみなさまにお伝えしたいこと

ロボティクスの分野は、自動車や半導体といった、かつて日本が世界の牽引役となった産業と比べても、**日本の企業がリードできるポテンシャルが高い**分野だと考えられます。それは、日本企業がこれまで培った圧倒的な技術力や豊富な経験に加え、IT分野でも決して他国に引けをとらないこと、また上記のような需要が存在することが、今後企業を育てると考えられるからです。

このように日本のロボティクス関連産業には優位性があることに加え、足元では政策のサポートも重なり、かつてないほどの**チャンスが拡がっている**とみられます。



日本でロボティクス関連産業が発展すると考える主な理由

1 日本の技術力

ものづくりを中心に、日本の関連企業の技術力は非常に高く、国際的な競争力を有する

2 巨大な需要の存在

- 少子高齢化やインフラの老朽化などに伴う問題をロボティクス関連技術を用いたサービスや製品で解決
- 2020年の東京オリンピックを契機とした様々な関連サービスの導入 など

3 輸出の拡大

日本で培われたロボティクス関連技術を、将来的に日本と同様の課題に直面する海外諸国に横展開

ファンドの特色

- 特色 1** 日本の株式の中から、主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
- 特色 2** 銘柄選定は、日興アセットマネジメントが徹底した調査に基づいて行ないます。
- 特色 3** (1年決算型) 年1回、決算を行ないます。
(年2回決算型) 年2回、決算を行ないます。基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

●リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

●お申込メモ

| | |
|------------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 |
| ご購入単位 | 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。 |
| ご購入価額 | 購入申込受付日の基準価額 |
| 信託期間 | 2026年1月26日まで(2016年1月29日設定) |
| 決算日 | 【1年決算型】毎年1月24日(休業日の場合は翌営業日) 【年2回決算型】毎年1月24日、7月24日(休業日の場合は翌営業日) |
| ご換金代金のお支払い | 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。 |

●手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

| | |
|---------|--|
| 購入時手数料 | 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

| | |
|-------|--|
| 信託報酬 | 純資産総額に対して年率 <u>1.674%(税抜1.55%)</u> を乗じて得た額 |
| その他費用 | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。 |

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●委託会社、その他関係法人

| | |
|------|---|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会 |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) |
| 販売会社 | 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |

●投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------|----------|-----------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本 投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会 |
| 岩井コスモ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第15号 | ○ | | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ |
| 岡地証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第5号 | ○ | | |
| 香川証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 四国財務局長(金商)第3号 | ○ | | |
| 株式会社群馬銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第46号 | ○ | ○ | |
| 第四証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第128号 | ○ | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第8号 | ○ | | |

ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------|----------|-----------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本 投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会 |
| 岩井コスモ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第15号 | ○ | ○ | |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | ○ | ○ |
| 岡地証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第5号 | ○ | | |
| 第四証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第128号 | ○ | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第8号 | ○ | | |

(資料作成日現在、50音順)